

はじめに

万葉の時代に「しろがねもくがねも玉も何せむにまされる宝子にしかめやも」と詠んだ歌人がいたように、いかなる時代であっても子どもは、かけがえのない存在であり、次代の希望といえます。子どもたちの屈託のない笑顔や歓声は、私たちに優しさややすらぎを与えてくれます。

しかしながら、家族構成や地域コミュニティ、就労の状況等の変化は、子どもの育ちや家庭に影響を与えており、子育て環境の整備が求められております。

越谷市は、これまでも安心して子育てができる環境づくりを進めてまいりましたが、国におきまして次世代育成支援対策推進法が制定され、全国の自治体や企業に次世代育成支援に関する行動計画の策定が義務付けられたことから、子育て支援の取り組みを今後とも計画的、総合的に推進するため本計画を策定いたしました。

この計画は、次代を担う子どもを育てる家庭への支援や子ども自身が健やかにいきいきと成長できる環境づくりを目指したものです。したがって、それらを総合的に推進するため、児童福祉、教育、保健・医療、生活・安全等の幅広い分野から施策を展開し、子育ての基本を家庭としつつ、学校、地域、企業など、社会全体で子どもたちの育ちやその家庭を支援していこうとするものです。

この計画の基本理念にありますように、地域の温かな支えあいの中で、越谷に育つ子どもたちが、きらきらと輝き、希望を抱き、心豊かに成長できるよう努めるとともに、市民の皆様が、次世代育成の意義、価値を共有し、支援の輪が広がっていくよう期待いたしております。

行動計画の策定にあたっては、ニーズ調査の実施や児童福祉審議会において意見を伺うとともに、行動計画の素案を公表し、直接市民の皆様からご意見を伺いながら策定してまいりました。

この計画の策定にご協力いただきました市民の皆様を始め、ご尽力をいただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

平成17年3月

越谷市長 板川 文夫